

研究課題名 ムンプス難聴症例の全国実態調査

疫学(臨床)調査実施についてのお知らせ
(岡山済生会版 2017年4月7日作成)

岡山済生会 総合病院 / 附属外来センターでは以下の疫学(臨床)調査に参加しております。
概要を記しますのでご理解の程をお願い申し上げます。

【研究課題名】 ムンプス難聴症例の全国実態調査

【調査期間】 倫理委員会承認後から平成 30 年 3 月 31 日迄

【調査の意義・目的】

流行性耳下腺炎はムンプスウイルスの感染により耳下腺腫脹、顎下腺腫脹と発熱を伴う疾患です。流行性耳下腺炎(ムンプス)の予防接種は任意であるため、接種率は非常に低く、約 30-40%とされています。このため、この数年季節を問わず流行しており、特に小学校入学時に大流行する例が少なくありません。しかし、流行性耳下腺炎に自然に罹患することで、数百人から 1000 人に 1 人の割合で非可逆性の難聴が生じることは以前から報告されているものの、一般には十分に知られていない実情があります。そこで、日本耳鼻咽喉科学会と協力し、流行性耳下腺炎の流行に伴うムンプス難聴発症の全国実態調査を行うことにしました。これにより、全国のムンプス難聴症例の実態が明らかになり、現在任意で行われているムンプス予防接種についての定期接種化を訴えるための基礎的資料になるものと考えられます。

【調査の方法】

全国 8000 の耳鼻咽喉科医が勤務する総合病院および個人病院に対して H27 年 1 月 1 日～H28 年 12 月 31 日までの間にムンプス難聴症例を経験したか一次調査を行います。これにより症例があったと回答した施設に二次調査票を送付し、難聴の程度、治療介入の有無について調査を行い統計、解析を行います。

【個人情報の保護について】

調査対象となる情報(調査票)は各施設で匿名化し、個人情報が存在しない状態で日本耳鼻咽喉科学会へ送られます。学会では情報を保存、集計したのち、国立成育医療研究センターにて解析を行います。結果公開は集計されたデータをもとに得られた結果のみを公開し、調査対象となった個々の患者さんの症例の報告は行われません。個人情報は守られ、患者さんの氏名、住所など、ご本人を特定できる一切の個人情報が公表されることはありません。

ん。

調査で得られた対象者のデータは本調査の目的以外には使用しません。

【調査への参加を希望されない場合】

今回の調査へ参加を希望されない場合は当院の患者さんは、下記の岡山済生会総合病院
研究責任者 野山、または、耳鼻咽喉科外来までご連絡ください。

この調査に協力されている他の医療機関の患者さんは、各々の医療機関の研究責任者まで、
ご連絡ください。患者さんに関するすべての医療情報の登録の中止と削除を速やかに行
います。

【研究担当者】

岡山済生会総合病院 研究責任者：

耳鼻咽喉科 野山 和廉

〒700-8511 岡山県岡山市北区国体町 2 番 25 号 岡山済生会総合病院

TEL：086-252-2211 (大代表) FAX：086-252-7375(大代表)

【研究実施体制】

研究責任者：守本倫子（成育医療センター耳鼻咽喉科）

研究協力者：西崎和則 中川尚志 益田慎 森山寛

〒108-0074 東京都港区高輪 3 -25-22 日本耳鼻咽喉科学会

TEL：03-3443-3085 Fax：03 -3443-3037

【本調査に関する問い合わせ先】

岡山済生会総合病院：086-252-2211 (大代表)

日本耳鼻咽喉科学会事務：03-3443-3085 E-mail：koho@jibika.or.jp

【結果の公表】

個人情報完全に削除したうえで、学会発表・学術誌等で公表します。発表詳細は決まり
次第、国立成育医療研究センターウェブサイト以案内します。